

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	食と栄養の健康リスクについての疫学研究―村上・魚沼・湯沢コホート研究の統合解析―
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	<p>対象者；2011～2013年度に行われた「村上コホート研究」(研究責任者 中村和利)、2012～2014年度に行われた「うおぬま地方の健康調査(魚沼コホート研究)」(研究責任者 田中純太)と、2015年度に行われた「湯の街ゆざわの健康調査(湯沢コホート研究)」(研究責任者 田中純太)のそれぞれベースライン調査のアンケートまたは各健診会場で同意いただいている方。</p> <p>登録対象期間；2011～2013年度(2014年3月31日まで)「村上コホート研究」 2012～2014年度(2015年3月31日まで)「うおぬま地方の健康調査」 2015年度(2016年3月31日まで)「湯の街ゆざわの健康調査」</p> <p>上記期間外でも各コホート調査のベースライン調査に該当するものは含みます。</p>
③概要	<p>本研究では、日本人の健康長寿の構成要素を「食と栄養」の視点で、その生活習慣病や加齢性疾患などの健康リスクとの関連を系統的に分析・評価することにより、健康長寿に役に立つ「食と栄養」を明らかにすることを目的としました。本研究では、国際医療福祉大学大学院医学研究科「食・栄養と健康」社会連携講座との共同研究として、現在進行中の加齢性疾患や生活習慣病予防のための地域住民コホート研究(村上コホート研究、魚沼コホート研究、湯沢コホート研究)に同意いただいた方のアンケートや健康診断結果、血液尿検査結果、介護・死亡情報などの各コホート研究が収集する情報を用いて分析を行います。情報利用への辞退は不利益を受けることなくいつでもできます(研究問い合わせ先までご連絡ください)。</p>
④申請番号	2025-0276
⑤研究の目的・意義	<p>日本人の健康長寿の構成要素を「食と栄養」の視点で、その生活習慣病や加齢性疾患などの健康リスクとの関連を系統的に分析・評価することにより、健康長寿に役に立つ「食と栄養」を明らかにすることを目的としました。近年 WHO が示す健康的な食事では、節度を踏まえた食事バランスや多様性に富んだ食パターンが推進されています。そのため、本研究では単一の栄養素に加えて包括的な食事・栄養バランスや文化・多様性の観点から健康リスク評価を行い、不足するエビデンスの補足や問題点の抽出を目指します。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2030 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	<p>村上コホート研究、魚沼コホート研究、湯沢コホート研究のベースライン調査(アンケート、健診)と追跡調査(5 年毎のアンケート、健診結果、医療機関診療記録、介護情報、死亡情報など)の情報やデータを使用します。使用する情報・データは、個人が特定されないように匿名化を行い、</p>

	<p>使用します。新潟大学環境予防医学分野や同健康増進医学講座の関連の他の研究と統合解析をする場合があります。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前などの個人が特定できるような情報が公表されることはありません。</p>
⑧利用または提供する情報の項目	<p>村上コホート研究、魚沼コホート研究、湯沢コホート研究本体の情報；ベースライン調査・5年毎の調査(アンケート、健診)、追跡調査の情報・データ(年次健康調査、健診、医療機関診療記録、死亡情報など予後調査)</p>
⑨利用する者の範囲	<p>新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。</p> <p>新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康増進医学講座 新潟大学大学院医歯学総合研究科 環境予防医学分野</p> <p>共同研究機関： 国際医療福祉大学大学院医学研究科 「食・栄養と健康」社会連携講座</p>
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	<p>新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康増進医学講座 蒲澤佳子</p> <p>共同研究機関： 国際医療福祉大学医学研究科 津金 昌一郎</p>
㊦ お問い合わせ先	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康増進医学講座</p> <p>氏名：蒲澤 佳子</p> <p>Tel：025-368-9009</p> <p>E-mail：keikoyk@med.niigata-u.ac.jp</p>